

JR東日本労働組合東京

組織速報

JR 東日本労働組合東京地方本部
発行責任者 中村 民雄
東京地方本部 組織部発行
2014年4月22日 NO、1

一人ひとりの魅力を発揮して組織拡大を!

共済担当者会議・第1回拡大代表者会議

2014年4月19日、東京地本会議室において、地本主催「共済担当者会議・第1回拡大分会代表者会議」が開催されました。当日は、土曜日にもかかわらず多くの組合員が結集して、集中した熱心な議論が行われました。



加入者、加入口数増の 取り組みを確認

共済担当者会議は、福田副委員長の司会で進められました。冒頭、中村委員長から「統一大会後初めて一堂に会する場である。しっかり意思統一していきたい。春闘は経営側の強硬な姿勢を覆し、ベアを勝ち取ることができた」と挨拶がありました。

その後、東日本事業本部の竹内推進部長から、交運共催についての説明と問題提起を受け、新規加入者と増口について取り組んでいくことを、全体で確認してきました。

目的は「組合員の利益を守る、 労働運動を将来に残すこと」

続いて開催された第1回拡大分会代表者会議は、郷副委員長の司会で進められました。執行部から、組織の現状と交渉経過、業務課題について提起が行われ全体で確認したあと、

本部生田書記長から講演を受けました。

講演では、2014春闘を通じた成果と課題について、現実に踏まえて問題提起が行われました。

「ベアを勝ち取ったことは成果として確認できる。しかし、職制による格差が拡大したことや、一部の労組の取組を見ると経営側主導の春闘であったといえる。労働側の力の分散と労働者の労働組合離れという現状の解消なしには来春闘も同様になるのでは、と危惧される」と現状の課題が明らかにされました。

そして「我々の目的は組合員の利益を守ることであり、労働組合を将来に残すことである」そのために「これまでの経験に裏打ちされた、一人一人の魅力を最大限発揮して組織の拡大につなげていこう」と檄が飛ばされました。

地本ボウリング大会 7月5日 池袋ハイパーレーン